

令和3年度大学院入学試験問題 (前期募集)

学校教育専攻

学校教育深化コース (芸能深化領域 音楽分野)

注 意 事 項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
- 2 出願時に選択した1科目を解答すること。
- 3 解答用紙には、選択した科目名を所定の欄に記入すること。
- 4 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 5 試験終了後は、解答用紙のみ回収する。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ること。

問題

出願時に選択した1科目を、1000～1200字で解答すること。

◎ 音楽教育学

『小学校学習指導要領（平成29年告示）』の「第2章 各教科」「第6節 音楽」「第1目標」の(2)には「音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする」とある。

児童生徒が「音楽を味わって聴く」ことができるようになるには、どのように授業展開したらよいか。校種を選び具体的な指導事例とともにあなたの考えを述べなさい。

◎ 声楽

指導者として学校を含むアマチュアの合唱団において混声4部合唱曲の音取り（音程の確認作業）を行うとき、あなたはどのような方法で行うか。その方法とその方法で行う理由を具体的に述べなさい。

◎ 器楽

児童または生徒が器楽に親しみを持つためには、音楽科の授業をどのように工夫することが重要か、具体的な指導場面を想定しながらあなたの考えを述べなさい。なお、校種は自由に設定してよい。

◎ 作曲

音楽づくり（創作）の指導をする場合に留意すべきことを簡潔に述べなさい。その際、具体的な音楽用語、及び「創意」「基礎」の語を用いること。校種は、特に限定しない。

◎ 音楽学

このところ、日本各地で地域の伝統の消失が危ぶまれている。後継者の確保がままならない地域では、地域に伝わる芸能などがやがて消滅してしまうことが危惧される。このような現状に対して、学校音楽教育にできることは何だと思うか。あなたの考えを述べなさい。（具体的な事例を取り上げることが望ましい）